

## ○地域再生計画 事後評価結果

地域再生計画の名称	安全で安心な「みなと・ネットワーク」の創出計画		
地域再生計画の名称作成主体の名称	広島県・呉市	計画期間	平成17年度 ～ 平成21年度

計画概要	<p>安全で安心な地域を再生するために、本計画において、台風等の荒天時に、中田港、釣土田港及び大地蔵漁港に避難できる『みなと・ネットワーク』を形成し、芸予地域で操業する小型船舶の安全を守り、広域避難を可能とする。</p> <p>地域交流拠点としての中田港では旅客ターミナル及び物揚場、泊地等の整備を行う。釣土田港では港内の安全を確保するために防波堤の改良を行う。大地蔵漁港では、防波堤延伸により港内静穏度を確保するとともに、より良い漁場環境を創出するための藻場機能を確保する。</p>
------	--

事業目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 異常気象時の避難港整備。</li> <li>2. 小型船舶の係留施設整備。</li> <li>3. より良い漁場環境の創出。</li> </ol>
------	---

目標の達成状況	内容	単位	従前値		設計値		実施値		事後評価	効果発現要因		
				基準年度		基準年度		基準年度		総合所見		
目標1	異常気象時の避難港として、避難隻数231隻の利用を可能とする。	隻	中田港	17	中田港	55	21	中田港	0	22	△	計画値より実施延長が下回る結果となった。
			釣土田港	17	釣土田港	126	21	釣土田港	0	22		
			大地蔵漁港	17	大地蔵漁港	50	21	大地蔵漁港	50	22		
			計	17	計	231	21	計				
目標2	中田港について、小型船舶の係留充足率を現況の35%に対し74%まで引上げる。	%	35		74		74		○	計画どおり実施でき、利便性の向上が図れた。		
目標3	大地蔵漁港について、漁船の係留充足率を現況の54%に対し61%まで引上げる。また、藻場機能を有する防波堤を整備し、より良い漁場環境の創出を図る。	%	54		61		61		○	計画どおり実施でき、利便性の向上及び漁場環境の創出が図れた。		

総合評価と今後の方針	<p>本計画に基づき実施した施設について、小型船舶の係留施設整備については計画どおり整備が完了し、係留施設不足を解消することができた。しかしながら、異常気象時の避難港としての整備は、大地蔵漁港を除く2港で計画値より実施延長が下回る結果となり、避難隻数を満足することが出来ない結果となった。</p> <p>※中田港と釣土田港については実施延長(防波堤整備延長)が計画を下回ったため、避難隻数は0隻とした。</p> <p>※上記計画の残工事を含めた新たな地域再生計画「瀬戸内の歴史・文化と景観が調査したみなとづくり計画」(計画期間:平成22年度～平成26年度)がH23. 3. 23付けで認定されており、継続して整備を実施している。</p>
------------	--